



来年の国際ピアノコンクールの概要を発表する河合弘隆会長兼社長＝8日、東京都渋谷区で

奏者の選抜4段階へ

河合楽器 国際ピアノコン概要

河合楽器製作所は8日、若手ピアノニストの発掘に向けて来年八月に開く「第一

Surface Book2
本日予約開始



回 Shigeru Kawai (シゲルカワイ) 国際ピアノコンクール」の概要を発表した。選抜を昨年の三段階から四段階に増やし、より多くの奏者が挑戦

できる場にした。

河合弘隆会長兼社長は東京都内で会見し「次世代を担う世界中のピアノニストによる最高の演奏を楽しみにしている」と参加を呼び掛けた。コンサート名に冠した「シゲルカワイ」は、同社を世界的メーカーに育てた故河合滋さん（一九二二～二〇〇六年）にちなんだブランドピアノのシリーズで、最高級モデル「SKIE X」を本選で弾くのが特徴。二十五カ国・地域から三百五十一人が参加した前回に続き、ピアノニスト海老彰子さんが審査委員長となる。予備審査は来年四月から

東京、名古屋、大阪であり、海外参加者は映像審査となる。前回は準決勝、決勝と続いたが、今回は準決勝の前に一次予選を設け、予備審査の通過枠を増やす。

演奏する。一位の賞金は百万円。十二月から来年二月二十八日まで申し込む。来年十一月には地元・浜松市で、三年に一度の「浜松国際ピアノコンクール」が十回目を迎える。日下昌和専務は「われわれのコンクールで腕試しをして、浜松国際でも上位に入ってもらえれば」と期待した。

一次予選と準決勝は八月上旬に東京のカワイ表参道で、決勝は八月十一日に東京文化会館（台東区）で開く。決勝ではモスクワ音楽院教授とピアノ協奏曲で共

（久下悠一郎）